

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 7日(火)・14日(火)
- 2歳6カ月以上 21日(火)・28日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 2日(木)・9日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 16日(木)・23日(木)

★マタニティおしゃべり広場 6日(月)

★ツイズ・デー 17日(金)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 10日(金)・24日(金)
- 1歳半～2歳 3日(金)・17日(金)
- 2歳～2歳半 8日(水)・22日(水)
- 2歳半～3歳 1日(水)・15日(水)
- 3歳～3歳半 7日(火)・21日(火)
- 3歳半以上 14日(火)・28日(火)

※いずれも午前10時～11時(受付時間は午前9時30分～9時50分)

費用無料、申し込み不要。

★ふれあいサロン

主任児童委員さんと一緒に楽しく遊びましょう。

16日(木) 午前10時30分～11時30分

(受付時間は午前10時～10時20分) 費用無料、申し込み不要

河北子育て支援センター

★あそびのひろば (飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX 62-2359)

支援センターに来て遊びませんか。

毎週月・水・木曜日 利用時間は、午前10時～午前11時30分

今月の行事は次のとおりです。

- 2日(木) 豆まき会
- 15日(水) 保健指導
- 22日(水)・23日(木) 作って遊ぼう(折り紙)

寒さに負けず外でも遊びましょうね。(防寒着・防寒靴を忘れないでね)
※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。お気軽にご利用ください。

月曜日～金曜日 午前9時30分～正午 午後1時～5時

土曜日 午前9時30分～正午

地域に出向いています

★子育てひろば

<今月の予定> (午前10時～11時30分)

7日(火)沢田・後谷地・川の上(沢田老人憩の家)

21日(火)吉野・岩崎・飯野本地・飯野新田(新田交流会館)

以上の地区に伺いますので、多くの方の参加をお待ちしています。

子育て アドバイス 2 子育て夢中

河北子育て支援センター所長 矢口 さち子



今、一生懸命子育てをしているお父さんやお母さん方とお話をしながら、自分自身がしてきた子育てのころを思い出すごがよくあります。

共働きでの子育ては無我夢中といった感じで、子どもの心が見えなくなる不安を感じたこともありました。祖母や先生方に親の知らないでいる子どもの様子を聞き、一喜一憂したり、葛

藤したこともありました。そんなとき支えとなったのは「子どもを信じる心」と周りの方々の力でした。

保育業務に携わりながら、いろいろな不安や悩みを抱え子育てをしてきたことを思うとき、今まさに子育て中のご両親にとっては無我夢中の状態だと思います。

子育ては、「自分の子どもが親になるまで続く」と言われますが、今まで祖母や保育所、幼稚園、地域の人たちに子育てを手伝っていただいたように、今度は私たちが子どもの成長を見守って手助けをしていきたいと、今更ながらに思っているこのころです。

みんなで子育て。今できることを大切に…

雄勝地区子育て支援 (雄勝総合支所保健福祉課 ☎57-3611)

★母子センター開放日

13日(月) 午前10時～11時30分

作って遊ぼう「チョコのおやつを作ろう!」 ※参加無料

お母さん同士お子さん同士の交流の場です。お気軽にご参加ください!

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0,1歳親子 7日(火) 絵本の読み聞かせ
- 14日(火) 絵合わせカードであそぼう!
- 21日(火) コップシアター
- 28日(火) おひなさまを作ろう!
- 2歳以上親子 2日(木) スクエア豆まき会
- 9日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
- 16日(木) 絵合わせカードであそぼう!
- 23日(木) コップシアター



※親子の上靴・おやつ・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで!

★サークル活動日

パプラでは、各地区の子育てサークルが活動しています。あなたも参加してみませんか。入会希望の方は、パプラにお申し込みください。

- 和渚子育てサークル「ひまわり」1日・15日
- 鹿又子育てサークル「かのまたカントリーキッズ」8日・22日
- 広渚子育てサークル「げんきっず」3日・17日
- 前谷地子育てサークル「みのりっこ」3日・17日
- 須江子育てサークル「どんぐり」10日・24日
- 北村子育てサークル「ワハハくらぶ」10日・24日

桃生地区子育て支援 (桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター 1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)

ところ 桃生文化交流会館 (☎76-3418)

4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 神取いきいき交流センター と き 14日(火)午前9時30分～

★子育て電話相談 6日(月)

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区子育て支援 (北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ 9日(木) 午前10時～11時30分

★ひまわりキッズフリー 23日(木) 午前10時～11時30分

表紙から

県立武道館協議会主催の10,000人寒げい古が開催されました。石巻地区では1月8日(日)総合体育館をメイン会場に剣道、柔道、弓道、空手道など7種目約500人が参加していました。総合体育館屋上の弓道場では、寒風が体を刺す中、市立女子高校弓道部員が「自分」、「弓」、「的」の三者一体に精神を集中させて弓を引いていました。(シユウ)

編集後記

この冬は、いつにもまして寒日が続いています。新潟や秋田などの日本海側の各地では、除雪が追いつかないほどの雪が降っているようです。石巻も12月早々に(石巻としては)大雪が降り、ちょっと驚きました。我々広報担当は、寒さや雪に負けず、元気な市報を作って行きたいと思います。(あ)

石巻市の人口と世帯数

平成18年1月1日現在 ()内は昨年同月比	82,401人(-964人)	87,943人(-842人)
	170,344人(-1,806人)	59,179世帯(+310世帯)

石巻市文化財保護委員

千葉 五郎

「文化財保護委員で何？」とよく訊かれる。新任の私は思わず「うっ。」と詰まってしまう。「ほら、白神とか、屋久島の...」それは、解るけど。「そうか、文化財は解るけど、保護委員が何をやる人なのか解らないという事なのだ。そこで簡単にいえば、国や県や市が指定した文化財が、破壊されたり変更されていないかを監視する役目が一つあります。これは誰でも、私でもできます。」

もう一つは、地域に知られずに眠っているものを調査、研究して、文化財としてふさわしいかどうかを考える仕事があります。これが難しい。これまで、この欄を担当されてきた委員の皆さんは、それぞれ専門の知識を有して、立派な研究成果も残しておられます。そこへ行くと私は何の専門知識もなく、得意な分野もありませんので、非常に自身の狭い思いをしている訳です。若い担当者の方からは「先生」と呼ばれて、思わず振り返ってしまう事もあります。私の方こそ、先生と呼んで教えを請いたいのです。

旧市町時代はそれぞれに数名の委員がいたのですが、合併によって旧市町から一名ずつと、専門分野から四名の十一名という体制になりました。当然の事ながら活動範囲が広がります。当北上地区にも最適任の方が居るのですが、高齢を理由に辞退されたという話です。そのお鉢が私に回ってきたという事です。

さて、我が北上の文化財として最も有名なのは、国の天然記念物に指定されている、イヌワシ（ゴールデン・イーグル）があります。これについては既に立花先生が専門家として、この欄で取り上げておられますので、私は北上川河口に広がるヨシ原について書いてみます。

ヨシは本来、「葦原のなかつ国」「豊葦原瑞穂の国」とか「記紀にも記される通り、葦なのですが、語感が悪いというのでヨシと呼ぶようになったというのが、通説であろうと思います。」

この、広大なヨシ原は、実は明治末から昭和初年までの北上川改修工事によって移転した町並みの跡に自生したものなのです。昭和六年、移転当時の苦しい生活の中で、このヨシを採取利用する許可願いの記録が残されています。現在の大須・釜谷崎地区が全戸移転によって大きな辛酸を舐めてきたわけです。それだけに、このヨシ原に対する思い入れは強いものがあります。そうした、地域の歴史と想いを刻んだ景観としての文化財的価値は充分にあるものと考えています。ここで自作の「釣石甚句」からヨシ原の四季を抜き出して紹介させて頂きます。

釣石甚句

- ところ名物 かずあれど
- 北上いちどは きてみされ
- 川の恵みは 豊かにて
- 人のなさけの こまやかに
- 夏はヨシ原 日は落ちて
- 鳴くやヨシキリ 風の音
- こころ涼しく 流れ行き
- 宿の湯の香の 恋しさよ
- 秋のヨシ原 波をうち
- 朝日夕日に 照り映えて
- そびえ立ちたる 翁倉
- 渡る鳥かけ イヌワシか
- 冬の北上 見てやれば
- 雪を置きたる ヨシの穂に
- かやれる夫婦の 睦まじさ
- 明日は天下の 屋根を聳く

小さな美術館

4

北上川のほとり



阿部 康子さん (北上町二丁谷地)

北上川の河川敷にある冬木立を水彩画にしました。裸木となつた木々がそれぞれの表情で自由奔放に枝を広げ、冬の日差しを受けて地面に柔らかな影をおとしていました。その様子に木々が囁き合っている様な幻想にとらわれ、夢中で描き上げたものです。

子どものころから絵が好きだった私は、展示会、個展などもよく鑑賞に出掛けます。ここ数年は北上川に連なる葦原風景を度々写生しています。青々とした夏の葦原そして夕日に染まる広大な葦原を前にして絵筆を執るとき、心が癒されます。私にとって絵画活動は自分を前向きな姿勢にしてくれる趣味であり、心の支えとなっています。サークルの方々と共にこれからも心に残るような作品を描き続けていきたいと思っています。

